

○学際研究重点拠点申請及び認定要領

平成29年6月20日
研究推進・支援機構長裁定

1. 趣旨

この要領は、東北大学研究推進・支援機構学際研究重点拠点組織運営内規（平成29年6月20日研究推進・支援機構長裁定。以下「内規」という。）第4条に基づき、学際研究重点拠点（以下「拠点」という。）の申請及び認定について、必要な事項を定めるものとする。

2. 目的

本学は、創設以来「研究第一主義」、「実学尊重」、「門戸開放」の理念のもとに、「知の創造体」として多くの成果を挙げ社会に発信してきた。一方、今日学術及び社会が急速に高度化する中で、分野融合や新領域開拓による新たな価値創造と、それを生かした人材育成が求められている。

学際研究重点拠点では、本学の多様な研究領域を、部局の枠を超えた新たな研究拠点として形成し、戦略的研究の推進や新興・融合分野など新たな研究領域を開拓するとともに、世界トップレベルの研究成果を創出するための研究活動を効果的かつ戦略的に推進する。

3. 申請要件

申請にあたり、内規第3条に定める責任者（以下「責任者」という。）及び研究組織の研究者が所属する部局長の了解が得られていること。

4. 申請手続

申請については、別紙「学際研究重点拠点認定申請書」により、責任者が所属する部局で取りまとめのうえ、東北大学研究推進・支援機構規程第16条第2項に定める学際研究重点拠点推進室長（以下「室長」という。）へ行うものとする。

5. 認定手続

認定については、室長及び室長が指名する者によって構成される学際研究重点拠点認定委員会において書面審査、及び必要に応じてヒアリング審査を行い、室長が決定する。

6. 認定審査の視点

認定にあたっては、以下のような視点で審査を行う。

- ・拠点設置のために掲げた研究課題は、新たな研究領域を開拓し、学術研究の飛躍的発展に繋がると期待できるか。若しくは、社会的課題に応えるものであり、企業等との共創の場の構築・深化を推進し、将来社会にインパクトある研究成果を創出することが期待できるか。
- ・研究プロジェクト計画が明確であり、拠点形成により研究が飛躍的に発展し、将来世界トップレベルの研究成果を創出することが期待できるか。
- ・海外の研究機関との連携など、本学の国際的存在感を高め研究者のネットワーク拡大に資することが期待できるか。
- ・既存の組織では推進が困難な研究であるか。

7. 拠点設置後の展開

「学際研究重点拠点」は、第三期中期目標期間における本学の機能強化に向けた取り組み、戦略②独自の最先端研究体制の構築等を図り、世界トップレベルの研究成果を創

出する研究拠点及び戦略④未来の産業構造・社会変革等に資する新興・融合分野など、社会にインパクトある新たな研究領域を開拓する研究拠点として概算要求を行うほか、ナショナルプロジェクト等の大型競争的資金や、新興・融合領域の創成を目指す事業等への申請を通して、学術研究の飛躍的な発展と社会的課題の解決に貢献する。

また、学際研究重点拠点として運営・推進していく中で、国内外から世界最高水準の研究者が集結し、優れた国際的研究環境及び研究支援体制を構築しつつ、世界最高水準の研究成果を世界に発信できる研究拠点と認められた際には、高等研究機構内の新たな研究組織として設置出来ることがありうる。

8. その他

この要領に定めるもののほか、拠点の認定に関し必要な事項は、室長が定める。

附則

この要領は、平成29年6月20日から施行し、平成29年4月1日から適用する。

附則（平成30年6月7日改正）

この要領は、平成30年6月7日から施行する。

附則（令和元年5月28日改正）

この要領は、令和元年5月28日から施行し、令和元年5月1日から適用する。

学際研究重点拠点認定申請書

申請部局名: _____

1. 拠点名称			
2. 設置期間	○年間 (○年○月○日 ~ ○年○月○日)		
3. 責任者	所属部局名 ・職名		氏名 (年齢) ()
	主たる研究分野 (※)		
4. 研究組織 ※適宜行を増やして使用してください。			
所属部局名・職名	氏名 (年齢)	主たる研究分野 (※)	
	()		
	()		
	()		
	()		
	()		
	()		
	()		
	()		
	()		
	()		

※「主たる研究分野」は、科学研究費助成事業（科研費）の「審査区分表」より、該当する小区分を1つ記入してください。
http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/03_keikaku/data/h30/h30_beppy2-1.pdf

5. 研究課題（課題・目標設定）

※適宜記入枠を広げて記述してください。

※新興・融合分野など新たな研究領域の開拓をしなければ推進できない課題、若しくは将来に向けて「社会が解決を切望する課題」や「未来の社会を豊かにする課題」といった課題を研究課題として記載してください。

6. 研究プロジェクト計画

※適宜記入枠を広げて記述してください。

※「5. 研究課題」の解決・推進のための計画について、簡潔に記入してください。

①課題の整理

（何故その研究課題は既存の組織では困難であり、新興・融合分野など新たな研究領域の開拓をしなければ推進できないか。若しくは、何故その解決が社会にとって必要不可欠か）

②本学の強み（課題の解決及び研究の推進を裏付ける本学の業績と「4. 研究組織」のこれまでの業績、環境、陣容）の整理

③課題の解決に向けた、長期的且つ組織的なシナリオ

④研究組織の構成と具体的な研究計画

⑤その他

7. 概要図

「6. 研究プロジェクト計画」で記載した①～④の項目を概要図（1枚）にまとめ、添付してください。